



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会のご案内

現在、いよいよ目前となった「日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会」を急ピッチで準備中です。お蔭様で、776名の方に事前登録いただき、講演 11、シンポジウム 3、パネル 4、フリートーク 2、ランチョンセミナー 15、一般演題口演 202、ポスター 93、クリティカルパス展示 29 という数多くのプログラムを組み合わせることが出来ました。ここ九州の小京都 人吉球磨へ錚々たる方々をお招きする大変貴重な機会となります。「人吉の連合大会、良かった」と言ってくれるようスタッフ一同、精一杯おもてなししてまいりますので、晩秋の人吉球磨へどうぞ足をお運びください。

【会期】 2015年 **11月20日(金)・21日(土)**

【会場】 人吉市カルチャーパレス・人吉スポーツパレス

【会長】 木村 正美 (JCHO 人吉医療センター 院長)

【参加登録費】

一般 7,000円 / 学生 2,000円

会場には、人吉球磨の物産品 (球磨焼酎など)、抹茶・試飲コーナー、ティータイム / イブニングカフェもご用意しています。

大会ホームページ

<http://jhm14kyusyuu.umin.jp/>

※ 参加者には記念品をご用意しています。

主要プログラム (※ 詳細他は大会ホームページをご参照下さい)

特別講演	地域医療構想地域包括ケア 福島 靖正先生 (厚生労働省 大臣官房審議官 (医政担当))
特別講演	地域社会での神社の役割 福川 義文先生 (青井阿蘇神社 宮司)
招請講演	これからの医療と介護 - 日本医師会の取組みと課題 横倉 義武先生 (日本医師会 会長)
招請講演	これからの医療 - NHO の取組みと課題 桐野 高明先生 (国立病院機構 理事長)
教育講演	これからの院内研修システムを考える 勝原 裕美子先生 (聖隷浜松病院 副院長 兼 総看護部長)
教育講演	今後の地域医療とクリティカルパス 野村 一俊先生 (朝日野総合病院 病院長)
教育セミナー	①ハーバード大学 CRICO 最新医療安全情報 ②医療事故調査制度について 埴岡 健一先生 (東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット 特任教授)

市民公開講座 **入場無料**

次代につなぐ コミュニティヘルスケア

日時：2015年11月21日(土)

会場：人吉市カルチャーパレス
(大ホール)

【第1部】13:30 ~ 14:30

「わが国社会の将来:

2015年から2040年に備える地域包括ケアシステムと地域の力」
田中 滋(慶應義塾大学 名誉教授)

【第2部】14:30 ~ 16:30

「超高齢化社会における生き方と逝き方~尊厳死を理解する~」
松根 敦子(一般財団法人 日本尊厳死協会 元副理事長)

「~自宅で大往生~「ええ人生やった」と言うために~」
中村 伸一(おおい町名田庄診療所所長、自治医科大学地域医療学臨床教授、
全国国保診療施設協議会理事)



スクール・オブ・ナーシング 特別上映会

日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会の特別プログラムとして、2度目の特別上映会を開催致します。学会の特別プログラムではありますが、一般の方も参加できます。(※舞台挨拶等はございません)

【日時】 2015年11月20日(金)
18:30~(開場:18:00)

【会場】 人吉市カルチャーパレス

【チケット(前売り・当日共通)】
大人(中学生以上) 1,000円
小人(小学生以下) 500円



前売り券は人吉温泉観光協会(人吉駅 MOZOCA ステーション内)、他2か所にて発売中です。
※医療マネジメント学会参加者は無料でご覧いただけますが、当日窓口にてチケットの受取りが必要になります。

映画公式 HP : <http://nurse-movie.jp/>

職員メンタルヘルスへの取組み

2015年12月から、ストレスチェックの実施が義務化されます。この背景には、メンタルヘルス不調の訴えや心の病、人間関係や仕事の質など、職場環境や業務内容から生じるストレスを多くの方が感じておられることがあげられます。そのため、メンタルヘルスと聞くと、後ろ向きな捉え方をイメージしやすいかもしれません。しかし、ストレスへの気づきを促したり、「皆が気持ちよく働き、生産性を高めるため」という前向きな捉え方をしたりすることもできます。今回の目的は、メンタル不調者の特定や治療ではなく、あくまでも不調の未然防止であり、「労働者のストレスへの気づきを促すこと」や「職場改善につなげる」ことがあげられます。具体的な取組みとして、「仕事のストレス要因」、「心身のストレス反応」、「周囲のサポート」

の3領域を含む調査票に回答します。もちろん、個人情報やプライバシーに配慮した取組みであり、労働者への周知を行ったうえでの取組みとなります。

メンタルヘルスでは、“セルフケア”が重要視されますが、セルフケアがより促進されやすい職場づくりや相談しやすい環境づくりを目指して、取り組んで行きたいと思えます。

事業者ならびに産業保健スタッフの皆様へ
2015年12月から
ストレスチェックの実施が
義務になります。



臨床心理士 乙益 真奈美

人吉医療センターフェスティバル 開催

10月18日(日) 澄み切った青空の下、人吉医療センターフェスティバル Vol.8 を開催しました。

フェスティバルでは、各部署がそれぞれの専門性を活かし、住民の皆さんに楽しみながら健康への取組みや人吉医療センターの機能を知って頂くためのブースが多数設置されました。また、「安心 効果的なおくすりの使い方」と題した市民講座、J.M.S ジャパンマンモグラフィーサンデー「日曜日に乳がん検査を」に協賛したマンモグラフィー検査も開催しました。手術室見学や検査体験など、普段なら入ることができない場所にも入ることができ、初めて知ることが多くとても貴重な体験ができました。



今回で8回目を迎えたフェスティバルですが、今回も地域協力会、どぎゃんか先番隊、人吉第一中学校吹奏楽部の皆さん、ダンスチーム RealLiZe さん、演歌歌手 原みどりさんなど多くの方々にご協力頂きました。フードコーナーでは、当院OBの中村末太郎さんの焼き芋や地域協力会の方々によるカレー販売など、豊富なメニューが用意され、来場された方も職員もお腹を満たしていました。

今年は500名を超える方のご来場があり、盛会のまま閉会を迎えることができました。本当にありがとうございました。また、来年も趣向を凝らした催し物やブースが設置されると思います。まだ人吉医療センターフェスティバルに来場されたことがない方を含め、一人でも多く足を運んで頂けるような、楽しんで学べるフェスティバルを作りたいと思えます。

医療福祉連携室 小田 薫子

第7回 人吉医療センター「緩和ケア研修会」募集案内

1 研修の目的・内容

がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画における「すべてのがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修」(厚生労働省通知)に則り、がん診療に携わる医師等が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得し、がん治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目的とします。

国立がんセンター及び日本緩和医療学会主催の指導者研修会修了者等が研修会企画責任者・研修会協力者として、緩和ケア研修会の企画・運営・進行及び講義を担当し、研修修了者には「修了証書」を交付します。

※「がん性疼痛緩和指導管理料」に関する施設基準に該当する研修会です。

2 研修会の対象者

がん診療に携わる県内外の医師等。医師を優先しますが、薬剤師及び看護師等のメディカルスタッフも参加可能です。
※参加受付は先着約30名を目処に締め切らせて頂きます。

3 研修会の日程及び会場等

日程：平成28年1月16日(土)9時00分～18時00分
平成28年1月17日(日)9時00分～17時00分(予定)
会場：人吉医療センター 3階講堂

4 研修会の参加費

無料(旅費、食費は参加者負担となります。)

—研修会企画責任者—
人吉医療センター
緩和・在宅医療センター長 西村 卓祐

—申込・お問い合わせ—
人吉医療センター
医療福祉連携室 南 秀明・乙益 真奈美
TEL：0966-22-2191《内線240》
FAX：0966-22-7879

人吉医療センター 認定看護師会



認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。

認定看護師は、看護実践を通し、看護現場における看護の広がりや質の向上に貢献します。

認定看護師による研修会に参加してみませんか。

当院には14名の認定看護師が、さまざまな分野で活動しております。私たちは、地元で研修会を開催し人吉・球磨地域の医療機関で働く皆さんと共に看護を展開したいと考えています。この機会に、認定看護師を活用してみませんか？



第2回 認定看護分野紹介 私たちこんなことをしています！

●がん化学療法看護（矢立雅章）

がんサバイバーの方が「らしい生活」を送れるように支援させていただいています。がん化学療法はもちろん、がん全般について多くの専門職が在籍していますので、お気軽にご相談ください。

●放射線療法看護（樋口和美）

放射線療法看護では、治療原理に基づき、かつ長期に渡る患者様を多側面から包括的に理解した上で、個別的ケアを実践しています。がん看護に携われる方、放射線療法の知識でさらに看護を深めましょう。

●緩和ケア看護（上野明美）

「こころを生き活きさせるものは、優しさであり手のぬくもりであり、真実の言葉である。そして耳を傾けて聴く姿勢、相手の望みを観る能力であり技術である。」目には見えないもので評価はされませんが、日々大切に携わらせて頂いています。微力ですが、宜しくお願い致します。

●皮膚・排泄ケア看護（宮原ひろみ・繁富香）

『Wound（創傷）』『Ostomy（ストーマ）』『Contenance（失禁）』として褥瘡や手術創のケア、人工肛門・人工膀胱のストーマケア、失禁によるスキンケアを行い、患者さんが心地よく安心して日常生活を過ごせるように一緒に考えていきましょう。

* 研修会は、2016年2月頃の開催を予定しております。たくさんの方のご要望をお待ちしております。

認定看護師担当窓口 人吉医療センター感染管理室
☎ 0966-22-2191 FAX 0966-24-2116

研修医挨拶



研修医1年目、柴田悠人と申します。今年10月から1年間、人吉医療センターで研修させていただきます。出身大学は岐阜大学ですが、出身が熊本でしたので育てて頂いた場所で社会貢献をしたいとの思いで戻ってきました。

この原稿を書いているのは、人吉に来て2週間が過ぎた10月14日です。この間、歓迎会を含め4回飲みに行きました。少し酔ってゆっくり歩く帰り道。雄大に流れる球磨川と、水面に映る鈍い光。短い時間ですが、韜晦（とうかい）も悔恨（かいこん）もどこかへ行ってしまいます。そして、橋の上で見る月が大きく思えるのは気のせいでしょうか。目に入ってくるものを美しいと思える、良い場所に来たと感じています。

皆様と共に、地域の方々の健康と生活のために少しでも力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

熊本大学医学部附属病院臨床研修医（協力型）
柴田 悠人



こんにちは。今年の10月からこの人吉医療センターで働かせて頂くことになった木村俊貴と申します。1年間という短い期間ではありますが、少しでもみなさんのお役にたてればと思っております。

私は学生の実習の際に、初めて人吉医療センターを訪れました。人吉の景色や、空気の綺麗さに心休まりました。また、医療センターのスタッフのみなさん一人一人が暖かく、やさしく声をかけて頂きました。その時の経験にとっても感動し、この病院で働きたいと思いました。

これから人吉での暮らしが始まりますが、仕事の時間はもちろん、プライベートでもみなさまと充実した時間を過ごすことができたらと思います。まだまだ実力不足であり、頼りない自分ですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

熊本大学医学部附属病院臨床研修医（協力型）
木村 俊貴

5階西病棟改修工事

5階西病棟の部屋はリフォームを行っています。床と壁の張り替え工事を少しずつ進めている最中ですが、シックで落ち着いた色調の部屋、明るい色調の部屋など部屋によって雰囲気が変わります。洗面台も車椅子の方でも利用しやすいような作りに変更されています。これからも患者さんに過ごしやすい環境づくりを心掛けていきたいと思っております。

5階西病棟 赤池 直子



保健講話 ～「性と生」～

平成 27 年 7 月 10 日（金）、熊本県立熊本工業高校において、当院産婦人科部長大竹秀幸医師による保健講話が行われました。生徒さんの感想を一部ご紹介させていただきます。

◆ 1 年生

- 女性は男性の 8 倍ストレスを感じると聞いたことがあります。それに月経など、男子にない負担感を抱えている。そこに自分たち男がさらに負担をかけてはいけないと思いました。女性を支えられる男になりたいと思いました。
- 自分の身体は自分で守ることが大事だと思いました。もし、性感染症などに感染してしまった時は、自分ひとりで考え込まず、身の回りの相談できる人や親に話せる勇気を持つことも大事だと学びました。

◆ 2 年生

- 「生」は「生きていく」ということで、「性」は「生をつなぐための行為」という、とても大切なことがわかりました。「性」は「生」をつなぐものですが、それは簡単なものではなく、どの過程にも危険なことがあり、いくつもの条件がそろった時に成り立つものだと思います。
- 僕は、今回の講話の中で性感染症の話が一番怖いと感じました。もし、自分が重大な感染症にかかっていると、相手に

うつしてしまったらと考えると、とても怖いと思いました。自分のことは自分で調べておくことが何よりも大事なことで、当たり前前のマナーではないかと思いました。

◆ 3 年生

- 望まれない状況での性行為については、女性はきっぱり断るべきということは分かっていますが、断れない人もいます。私も断れるかどうか不安です。でもその時、後々傷つくのは自分だけじゃないと考えることができれば、また少し対応を変えられるかもしれないと思いました。まずは私たち一人ひとりの意識から考え直していくべきだと思います。
- 母親が命がけで産んでくれたこと、それを一生懸命支えた父親。一緒に遊んでくれた兄たち。私のかかわってくれた全ての人たちに感謝しなければいけないと思いました。人の好き嫌いは確かにあるけど、お互いに奇跡的に生まれ、奇跡的に出会えた仲間たちです。たった一度の人生を後悔しないように生きたいと思います。

子育て講座「子どもの病気と対処法」を受けて

天使のちえぶくろ開催！

9 月 14 日錦町子育て支援センターにおいて「子育て講座」と題して天使のちえぶくろ出張講座を行いました。子育てをされている方、子育てボランティアの方など約 15 名の参加がありました。参加者の方からポスター、感想文をいただきましたので、掲載いたします。

今回、天使のちえぶくろのスタッフの方々から「こどもの発熱、けいれん、嘔吐・下痢、溺水」というテーマで講演していただきました。症状別に説明していただくことで改めて対処法を確認し、これからの季節に向けて不安をやわらぐことができました。きちんと子どもの症状を観察し、それに合った方法で落ち着いて対応していきたいと思います。また、谷口先生は私たち母親や、家族の目線でお話しされる場面もあり、共感するとともにスムーズに講演内容も頭に入ってきました。

心肺蘇生の実技は、私自身は 3 年前に講習を受けたことがあ



り、頭の中では内容はわかっていました。しかし、実際にやってみるとからだは動かず、するのとならないのでは大違いでした。1 回だけではなく繰り返し何度も講習を受けていくことが大切だと感じました。今後も定期的に講習を受け、様々な場面に遭遇した時にできるだけ落ち着いて対応できるようにしていきたいです。このようにとても充実した時間を過ごすことができました。お忙しい中、講演していただいた天使のちえぶくろのスタッフの方々にお礼の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

中島 彩

出前講座開催中

当院では地域みなさんに向けて医療に関してのさまざまなテーマを設け、出前講座を行っています。集会や勉強会など要請、その他ご要望等がありましたら、お気軽にご連絡ください。

人吉医療センター 地域連携室 0966-22-2191 (内線 240)

人吉医療センター出前講座一覧

名称	内容	講師	所要時間(目安)
天使のちえぶくろ	小児レクチャー(子どもの病気に対する処置の方法等) ・発熱、痙攣(15分) ・水の事故 心肺蘇生法(60分) ・嘔吐下痢(10分) ・手洗い実技(15分) ・RSウイルス(10分) ・インフルエンザ(10分)	小児科医師、看護師	1時間～1時間半
命のエレキテル	心肺蘇生法、AED講習	救急医師、看護師	
性教育	性感染症等について	産婦人科医師	
看取り研修会	エンゼルケア(講演) エンゼルメイク(実技)	緩和ケア認定看護師	
その他	禁煙、薬物乱用防止、飲酒について	外科医師	
	認知症について	認知症看護認定看護師	
	感染症について	感染管理認定看護師	
	褥瘡処置について	皮膚・排泄ケア認定看護師	
	疼痛について	がん性疼痛看護認定看護師	
	生活習慣病の予防・改善の食事		
	骨粗鬆症の予防のための食生活(骨を丈夫にする食事とは?)	管理栄養士	
	がん予防のための食生活		
	食欲低下時の食事の工夫(がん治療中、ターミナル期)		
	健診について	臨床検査技師	

登録医リレーエッセイ Vol.21

球磨郡多良木町で整形外科診療を開始して早20年が経過しました。

私自身も年齢を重ねていますが、患者さんの高齢化も実感しています。2004年の新臨床研修制度開始後、医師の都市偏在、田舎での医師不足がさらに進む中、当地の中核病院として医療スタッフを確保し、高い医療レベルの維持に努力していただいで大変ありがたく思っております。高齢化も進んでいる球磨人吉の住民の皆さんにとって八代市や熊本市へのアクセスはそんなに容易ではない方も多くなっていると思います。その中で地元での高い医療サービスが安心して受けられることは地域住民の人達にとっても本当に大切な事です。患者さんの話からも人吉医療センターへの信頼を感じることがよくあります。また、日常診療において開業医としての私の役目には人吉医療センターのような中核病院へのいわば窓口業務のような役割も感じています。当院を受診された患者さんを区分けして、当院で診療が可能な患者さんはそのまま経過を見て、さらに精査や加療

が必要な人は出来るだけすみやかに紹介して、対応をお願いすることになります。我々、開業医が地域で安心して医療業務に専念するためにも、何かあった時、即、対応してバックアップしていただける心強い存在として今後もお願いしたいと思えます。さらに地元で十分な医療が受けられないかもしれないということが、どれほど地域の人達の生活に不安を与えるのかということ、この2～3年の間に実感させられたこともありました。鹿や猿に出会うことも珍しくない田舎ではありますが、その中で安心できる医療レベルを保ち、更に向上を目指そうという病院が近くにあることは繰り返しになりますが心強いものと思っております。



宮原医院
山村 正統

職場体験

人吉市立第二中学校

9月29日 当院において人吉第二中学校3年生の職場体験が行われました。

OPE室の見学をなど、普段では経験できないような体験をし、これからの将来を考えていく上での一助になったのではないかと思います。感想文を頂きましたので一部ご紹介させていただきます。

- ・ 臨床工学士の仕事を見学するためにOPE室に入り、命と隣り合わせの緊張感を肌で感じることができ、とても印象に残っています。病院は医師だけが治療しているわけではなく、たくさんの職種が関わってこそその病院であるとわかりました。

- ・ 「早期発見・早期治療」という言葉が印象に残っています。患者さんの事を一番に考えて行動していて、その中に責任と優しさを感じました。
- ・ OPE室見学の際、患者さんとスタッフの方がリラックスできるように音楽を流されていることを初めて知ることができました。また、人の命をあずかるという責任の重要性を学ぶことができました。
- ・ 今回の職場体験で、自分の知らない職種の人がたくさんいることがわかりました。これからは職場体験で学んだ「チームワーク」を普段の学校生活の中でも心がけていきたいと思えます。

<今後の予定> 10月 相良中学校

ラグビーワールドカップ2015 イングランド大会 観戦記

去る9月、当院外科の杉山医師が、日本代表の南アフリカ戦・スコットランド戦とワールドカップ一色のイングランドをご家族揃って満喫！そこで今回、杉山医師のラグビーワールドカップ2015イングランド大会観戦記を、ご紹介しようと思います。

Rugby World Cup 熊本開催まであと4年。先日 My Family で渡英し、世界を驚愕させたあの日本 vs 南アフリカ戦、そして悔しい敗戦となった日本 vs スコットランド戦を観戦してきました。

南ア戦の行われた、ブライトンコミュニティスタジアムは約3万人集客できるスタジアムで、熊本開催の際に使用される「うまかな・よかなスタジアム」とほぼ同等の規模です。約1時間かけて、試合開始3時間前にスタジアムに到着です。

Webb Ellis カップも展示、誰でも記念撮影でき、長蛇の列ができていました。無料でフェイスペインティングしてくれる人がいて、これまた長蛇の列が！試合開始2時間前に入場。実際の試合は、既にご存知のように素晴らしい内容でした。それ以上に感激したのは、試合後南アフリカのサポーターからも「Congratulation!」「Well done (よくやった)!」「Fantastic game!」などの称賛の嵐を頂いたことでした。ランキング上

位国に勝った以上にゲームの内容の素晴らしさを褒め称えてくれ、彼らに本当のラグビー文化が根付いていることを再確認した瞬間でした。

スコットランド戦の行われた、グロスターーキング

ホルムスタジアムは約1万6千人集客できるスタジアムで、ロンドンから約145kmの距離で、列車で2時間ほどの位置にあります。小さい町だけに歓待ムードは満点。スコットランドのバグパイプによる演奏、パブは何軒もあり、ビールをすでに飲みまくり。ゲームはご存知の通り、残念な結果でしたが、前半から後半の入りまでは、かなり押ししており、ゲームプランニング次第では違った結果になりそうでした。

以上、4年後のRWC 熊本開催を思いはせながら、雑感を述べさせて頂きました。今後のラグビー日本代表の活躍と、来るRWC 熊本開催の大成功を祈念致します。

熊本県ラグビーフットボール協会 医務委員会、普及育成委員会
杉山 眞一

※ 熊本県ラグビーフットボール協会

ホームページ (<http://www.kumamoto-rugby.jp/>) より抜粋



感染の研修を終えて

10月5、6日に全職員を対象とした、これからの季節に流行するノロウイルス感染症についての感染対策研修会が行われました。ノロウイルスの感染経路や症状、予防法などについて学びました。ノロウイルスは人の手を介して感染する経口感染であり、家庭や共同生活施設など人同士の接触する機会が多い所で人から人へと感染します。そのため、どこにいても感染するリスクが高いのです。もっとも有効な感染予防として手洗いがあります。手洗いは誰でもできるものです。これだけで手指に付着しているノロウイルスは減ります。丁寧に手洗いをし、ノロウイルスに感染することなく今年の冬を乗り切りましょう。

5階 看護師 米良 麻美

新 任 紹 介



柴田 悠人 (協力型臨床研修医)
最終卒業校：岐阜大学
趣味：読書

好きな言葉：「あらゆるものは通りすぎる」
自分の性格：前向き
自分のコマーシャル：今年は焼酎を飲む！



木村 俊貴 (協力型臨床研修医)
最終卒業校：熊本大学
趣味：カラオケ、ボート、食べること

好きな言葉：一期一会
長所：立ち直りが早い
短所：能天気
自分のコマーシャル：スタッフのみなさん一人一人と仲良く仕事していきたいです。よろしくお願いします。



上村 靖彦 (5階・看護師)
最終卒業校：たちばな医療専門学校
趣味：スポーツ (野球・ゴルフなど)

好きな言葉：「感謝」
長所：明るく笑顔で前向きに何でも取り組むこと
自分のコマーシャル：10月から地元である人吉に帰ってきました。
これからよろしくお願いします。



福崎 由香 (6階・看護師)
最終卒業校：加治木看護専門学校
趣味：ショッピング

好きな言葉：一期一会
長所：明るく元気
短所：方向音痴
自分のコマーシャル：仕事と皆さんの名前と顔を早く覚え、明るく元気に仕事ができるよう頑張ります。よろしくお願いします。迷子になっていたら助けて下さい。

獅子舞来訪

10月9日 青井阿蘇神社の例大祭「おくんち祭り」の御神幸行列が行われ、獅子舞が当院を訪問しました。

患者さんやご家族、職員まで頭を囓んでもらい、無病息災を願いました。

みなさんの喜ばれる姿を見ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。



佐田 雅 (クラーク)
最終卒業校：国際医療管理専門学校
趣味：ヨガ、旅行

モットー：常に笑顔、感謝
性格：おおらか、マイペース
自分のコマーシャル：早く仕事が覚えられるよう頑張ります。



豊永 朋衣 (クラーク)
最終卒業校：熊本県立球磨商業高等学校
趣味：ショッピング

モットー：笑顔
自分の性格：マイペース
自分のコマーシャル：一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



豊永 綾乃 (療養介助員)
最終卒業校：熊本県立球磨商業高等学校
趣味：ボウリング

好きな言葉：ありがとう
嬉しいこと：子どもの笑顔
自分の性格：おっとりしてるけど、まじめ
自分のコマーシャル：1歳児双子のママです。よろしくお願いします。

10月の勉強会報告

10月14日(水)人吉・球磨胃癌セミナー

「腹腔鏡補助下胃全摘術におけるΩ-drop法再建の手技と成績」
球磨郡公立多良木病院 外科 清水 健次先生
「胃癌治療 up to date」
熊本大学大学院 消化器外科学分野 教授 馬場 秀夫先生

10月22日(木)人吉肝炎地域連携セミナー

「人吉医療センターにおけるC型肝炎治療成績」
熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学 吉丸 洋子先生
「C型肝炎肝炎疾患に対する新治療」
熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学 准教授 田中 基彦先生

10月23日(金)第77回人吉乳腺カンファレンス

1.「嚢胞変性を伴った乳癌の症例」
人吉医療センター 検査部 豊原 早織 臨床検査技師
2.「画像的には悪性が否定できず生検を繰り返した乳房内陳旧性病変の一例」
人吉医療センター 外科 西村 卓祐先生